

国際会長：
コシ・ムテスワ博士、MPH PhD、RN
- エスワティニ王国

事務総長
Diana Ruzicka さん、MSN、マサチューセッツ州、マサチュー
セッツ州、RN - 米国

財務マネージャー
マリア・ムルチャーノさん (RN) - イタリア

教会補佐官
ケネス・スリーマン神父、MM (RN)
日本

アフリカ地域社長
ロザリン・オコボ、FCP、MHPM、
RN - ナイジェリア

アジア地域社長
清水 博子 博士 (PhD、RN 日本)

ヨーロッパ地域社長
マルゴルサタ博士 (ゴシア)
ブリュクチンスカ博士、RN、OCV
イングランド

パンアメリカ地域会長
アイベス・ロシオ・マバレス・デ・タランテ
イーノ氏、RN、修士、医学博士 - 米国

倫理委員会委員長
ジョイス・アスフィさん、BNSC、MPH、
FWACN、RN - ナイジェリア

家族委員会委員長
Sr. Cecilia Adache、OSF、RN、MPH、
CFCP、CFCE - ナイジェリア

助産師委員会委員長
メイベル・D・ロザリオ博士 (RN、RM、BSc、
MPH、PhD) - バングラデシュ

専門委員会委員長
ロザンヌ・アルー・ニャベラさん (BSN、
MPH、RN) - ケニア

規則委員会委員長
グレース・アティエノ・ティリクワさん、RN、RM
- ケニア

国連代表 (UN/DGC/ECOSOC/UNICEF)

アン・リーサー博士、DNP、APRN-BC、
RN - 米国

クレッシェンド代表
ベアトリス・ヴァン・ドーサー氏、BN、RN
オランダ

国際医療社会カトリック・デ・アシスタント委員会
国際カトリック看護師・医療社会福祉士委員会
国際医療支援委員会医療社会委員会

2月
2025

国際会長のデスクから International President's Desk

愛する兄弟姉妹の皆様、いつも私を励ましてくれる言葉をもって、皆様にご挨拶申し上げます。「御言は肉となり、私たちに住まわれた」。新年のニュースレターで皆様にお伝えしたい挨拶を考えていた時、2025年の聖年が「希望の巡礼者」というテーマで迎えられていることを思い起こしました。このテーマは、困難な時にも絶望しないよう私たちを励ましてくれます。



これまで、そしてこれからも、私たちは異なる日々の生活の中で様々な困難に直面します。教会は私たちに、忍耐する自信を与えてくれます。また、今年も4月5日と6日に「病者と医療従事者の聖年」が行われます。私たち自身と、医療従事者としての私たちの使命に焦点を当てた聖年を迎えられることは、大変励みになります。

ローマでの聖年祭に全員が参加できるわけではないことは承知していますが、テクノロジーのおかげで世界中の情報にアクセスできるようになりました。ですから、取り残されることのないよう、皆さん一人ひとりにオンラインですべての行事をフォローすることをお勧めします。

タイで開催される第22回大会のテーマ「人間の尊厳と平和：地球規模の変革の時」が、ジュビリーのテーマ、そして第33回世界病者の日のテーマ「希望は失望させることなく（ローマ人への手紙5章5節）、試練の時に私たちに強くする」と非常によく共鳴していることに、私は預言的な意味を感じました。私はこれらのテーマに感銘を受けています。これからの数年間で、私たち個人にとっても、私たちの組織にとっても、より良いものとなることを願っています。私たちは、規律、勤勉、誠実さ、祈り、愛といった、私たちを支えてくれるものに焦点を当てるべきです。より高い基準へと成長するよう、私たちを鼓舞し、刺激してくれる人々に囲まれましょう。聖パウロが「私にはすべてのことが許されているが、すべてのことが有益なわけではない」（コリントの信徒への手紙一10章23節）と記しているように、興味深いことだけでなく、有益なことを選びましょう。

最後に、ジュビリーとジュビリーの祈りについての説明を盛り込んでくださった事務総長に感謝申し上げます。皆様、ジュビリーのために共に祈りましょう。ありがとうございました。どうぞ祝福されますように。

---博士。ローズマリー・コーシ・ムテスワ、MPH、PhD、RN

あなたはカトリックの看護師ですか、それともカトリックの看護師ですか？ Nurse?

1935年8月27日、ローマで開催された国際カトリック看護師世界会議において、教皇ピウス11世はカステル・ガンドルフォに集まった2000人の看護師たちに演説を行いました。異教と物質主義があらゆる場所に浸透していることへの懸念を表明した後、教皇は次のように述べました。「ですから、何よりもまず、そしてどんな犠牲を払っても、霊性、キリスト教、キリスト教的超自然の精神に満ちていなければなりません。…私たちは、自分自身が持っていないものを他人に与えることはできません。…そして、皆さんの援助が病弱な人々にもたらすべき宝は、まさに霊性、超自然の宝なのです。」教皇は、看護師が物質的な身体的な慰めと専門的な知識を持つことの重要性を指摘しました。しかし、何よりもまず、私たち自身がキリスト教的超自然を身につけていなければなりません。聖母マリアが推奨する5つのカトリックの戒律をご紹介します。祈りの生活を深めるために、これらのいくつか、あるいはすべてを取り入れてみてはいかがでしょうか。

聖書 / 聖体拝領 / ロザリオ / 断食 / 告解

(毎日の聖書朗読) / (毎週日曜日) / 聖ヨハネ (毎日) / (週2回) / (月刊)

デ・ゴダ、聖カミロス・デ・レリス、ハジナ・クリザノワスカ神父、私たちのために祈ってください。 Pray for us.

CICIAMS第22回世界会議

2026年11月11日～13日 ;11月9日執行委員会 ;11月10日総会

Baan Phu Waan Pastoral Training Center, 2/4 Moo 6, Petkasem Rd.,
Tha Kham, ナコーンパトム 73110 タイ

CICIAMS XXII 世界会議は、タイのカトリック看護師ギルド (CNG-Thailand) が主催します。

テーマは「人間の尊厳と平和 :地球規模の変革の時」です。

- 1日目 - 医療神学の適用におけるカトリック看護師の視点
- 2日目 - カトリックの看護師が受胎から尊厳ある死に至るまでの人間的価値を促進する
- 2日目 - 多様性の中の統一 - 多文化社会におけるカトリック看護師として
- 3日目 - 人工知能 :カトリックの視点から見た看護の新たな境地

*カトリック看護協会/ギルドの会長またはその代理人は、CICIAMSの最高統治機関である総会 (GCM)に出席します。GCMには3名以上の会員が出席し、発言権を持ちます。その他のオブザーバーは、スペースに余裕がある場合に限り出席できますが、発言権はありません。各協会/ギルドは1票を有し、会員数が1,000名を超える場合は2票となります。

<https://www.facebook.com/share/v/tYxwk12v58ootcai/?mibextid=jmPrMh>

CICIAMS XXIIの最初のオンライン拡大準備会議

世界会議、2024年10月9日

2024年8月6日、ケニア・ナイロビで開催されたCICIAMS世界総会において、第22回CICIAMS世界会議の開催概要が承認されました。関係者による国内準備会議が直ちにタイで開催され、2024年10月9日にはオンライン形式で拡大準備会議が開催されました。会議には、国際聖職者補佐のケネス・G・スレイマン師、国際事務総長のダイアナ・ルジカ氏、ヨーロッパ地域会長のマルゴザタ・プリクチェンスカ氏、アジア地域会長の清水宏子氏が出席し、メインテーマに基づいたサブテーマやタイムテーブルが確認されました。



10月9日のオンライン会議

CICIAMS第20回世界会議に向けた第2回オンライン準備会議 (2024年11月15日)



オンライン会議、2024年11月15日

世界会議の準備として、タイ・カトリック保健協会は11月1日に新しい執行委員会体制を発表しました。会長は、タイ・カトリック看護師ギルド (CNG-Thai)会長のマグダレーナ・スパボン・ダオディー (PhD,RN、聖パウロ・ド・シャルトル修道女会)で、本部はタイ・カトリック司教協議会122/11、ソイ・ノンシー14、ノンシー通り、チョンノンシー、ヤンナーワ、バンコク10120タイです。副会長はサイフォン・ムンソナーン (MSN,RN)です。世界会議の組織委員会は、看護師だけでなく、カトリックの医師やカトリックの司祭を含むタイ・カトリック保健協会の会員の協力を得て結成されています。

2024年11月15日に開催された国際オンライン準備会議には、Khoshi Mthethwa博士 (MPH, PhD,RN)が参加しました。CICIAMS国際会長およびCICIAMSのダイアナ・ルジカ事務局長、その他関係者が出席しました。CICIAMS専門委員会からは、ロザヌ・アル・ニャベラ委員長、フリーダ・チャベス氏、タンダジル・ンシュマロ氏が参加しました。現地組織委員会には、プログラム委員会の現地メンバーに加え、マルゴザタ・プリクチェンスカ博士も参加し

ました。

CICIAMS執行委員会からは、ヨーロッパ地域会長の清水博子博士 (PhD,RN,OCV)とアジア地域会長の清水博子博士 (PhD,RN,CICIAMS)が出席しました。プログラムには、初日のタイムテーブルと割り当てに関するいくつかの修正が含まれていました。基調講演者の選定と対応についても検討されました。懇親会委員会は宿泊施設とサービスについて検討しました。また、典礼、会議推進、メディアコミュニケーション、スポンサーシップ、財務、輸送の各委員会からも報告があり、全員が熱心に準備を進めてきたことを報告しました。

CICIAMS国際会長からは、世界各地における地域交流について、助言と激励のお言葉をいただきました。詳細は、今後の本紙でお伝えいたしますので、どうぞご期待ください。

CICIAMSヨーロッパ地域より

ポーランド看護師・助産師カトリック協会クラブ支部

カトリッキー・ストワルジシェニエ・ピェレンニャレク・イ・ポウォジニッチ・ポルスキツ (KSPiPP)

Bl.ハンナ・チャノフスカ・フォーメーション・ハウス

ヴィオソヴナ、ポーランド

2024年11月10日、ワルシャワ=プラガ教区の司教ロムアルド・カミンスキ氏によって、ヴィオソヴナにおいて、福者ハンナ・クルザノフスカ養成施設が奉献されました。祝福は、多くの教区民と招待客が出席した荘厳なミサの後に行われました。この施設は、教区民の多大なる献身により2年かけて建設されました。その主要部分は、大きく多目的な礼拝堂で、さらにいくつかの小部屋とユーティリティ施設があります。養成施設では、礼拝、会議、教区グループの会合、そして教区民と共同体住民の会合などが行われます。この点に関して、ブシェミスワフ・マチオス主教は多くのアイデアを持っています。この建物は、福者ハンナ・クルザノフスカの姿にインスピレーションを受けて建てられたもう一つの作品です。



テレサ・クロツホ=ミゼルスカ



神のしもべマグダレーナ・マリア・エプスタイン修道女

ピリツァ、ポーランド

マグダレーナ・マリア・エプシュタイン修道女は、1875年8月2日、オルクシュ近郊のピリツァ城で、ユダヤ系改宗者で銀行家のレオン・エプシュタインの裕福な家庭に生まれました。母マリアはスカルジンスキ家の出身で、ポーランドの地主階級に属していました。彼女は家庭で高度な教育を受け、深い信仰心と愛国心を育みました。幼少期から、困窮する人々や苦しむ人々に深い思いやりを示しました。両親の死後、彼女は病める人々や貧しい人々を助けるために、自らの人生を捧げました（次ページに続く）。



ポーランド看護師・助産師カトリック協会クラクフ支部

カトリッキー・ストワルジシェニエ・ピェレンニャレク・イ・ポウオジニッチ・ポルスキッチ (KSPiPP)

2024年11月16日 - ピリツァにあるマグダレーナ・マリア・エプシュタイン修道女生誕地で会合。2025年には、エプシュタイン修道女生誕150周年を迎えます。また、2025年には、大学看護衛生学校開校100周年も記念されます。



(前ページからの続き)まず、若い女性グループと共に、愛徳の娘会が運営する診療所に隣接した小さな病院を設立しました。1911年にはクラクフに最初の専門看護学校を設立しました。第一次世界大戦中は、公爵司教戦争犠牲者救済委員会の枠組みの下、負傷兵や伝染病に苦しむ民間人に医療を提供しました。1925年には、ヤギェウォ大学当局、アメリカ赤十字社の代表者、ロックフェラー財団と協力して、近代的な看護衛生士のための大学学校を設立し、高い専門性と倫理水準を確立しました。1930年末、修道院の運営を後継者に引き継いだ後、彼女はクラクフのグロデクにある閉鎖的なドミニコ会修道院に入会し（1931年3月24日）、そこで16年間を過ごし、謙虚さ、愛、そして修道生活への熱意において模範を示しました。彼女は十字架につけられたキリストを信仰の中心に置きました。彼女は1947年9月6日、聖なる香りに包まれて亡くなり、クラクフのラコヴ

イツキ墓地に埋葬されました。

2004年9月30日、フランチェスコ・マハルスキ枢機卿は、ドミニコ修道女会「ナ・グロドク」教会。2007年4月20日、スタニスワフ・ジヴィシユ枢機卿によって教区レベルで閉鎖され、枢機卿はローマの列聖省に書類を提出した。



左から :エルズビエタ・グウォヴァ病院主任看護師
チェロ、クラクフのゼロムスキエゴ。 KSPiPP先生、ズジスワフ・ピエトジク - ヤギェウォ図書館、H.マトガ、福者ハンナ・クルザニフスカ列聖副申請者。空席は、愛徳の娘たちの修道女会の副管区長、マルタ・シユカルラト修道女によって一時的に空席となった。



左から、マルタ・スカルト保健科学学部長、教授、ハブ博士。ピョートル・ピエルチャルスキー、イウォナ・マリノフスカ教授 - リビエン、アンナ・ポロネク、MOIPiP 会計担当、ポーランド軍大尉、フローレンス・ナイチンゲール勳章受賞者 アンナ・カチュマルチク、カロリナ・ズマラ - リブチンスカ



左から： wyd教授。保健科学 アンナ・マイダ氏、イザベラ・チュヴィエルトニア氏、主催者 エドワード・ズマラ氏、ベアタ・ヴィデウカ氏（蝶ネクタイをして立っている） タデウシユ・ワダス氏、KSPiPP会長

ポーランド看護師・助産師カトリック協会クラクフ支部 カトリッキー・ストワルジシェニエ・ピエレンニャレク・イ・ポウオジニッチ・ポルスキツ (KSPiPP)

祝福されたハンナ・チャノフスカへの連携

2024年2月18日

キリエ・エレイソン、クリステ・エレイソン、キリエ・エレイソン。

キリストよ、われらの願いを聞きたまえ、キリストよ、われらの願いを聞きたまえ。

天の父なる神よ、どうか私たちに憐れんでください。

息子よ、世界の救い主よ、神よ、我々を憐れんで下さい。

聖霊なる神よ、私たちに憐れんでください。

聖なる三位一体、唯一の神よ、我らを憐れんで下さい。

聖マリア様、私たちのためにお祈りください。

聖ヨセフ様、私たちのためにお祈りください。

聖ベネディクト様、私たちのためにお祈りください。

神のすべての聖人、聖なる人々よ、私たちのためにお祈りください。

祝福されたハンナ・チャノフスカ - 私たちのために祈ってください。

神の偉大な業を讃える - 十字架の神秘の中

でイエス・キリストを見つける

神の言葉を熱心に探求する

聖体においてキリストと一体となり、

ベネディクト派の精神を豊かに引き出して

祈りの中で、信仰、希望、愛の力が強まります。

困っている人々を助けるためにメアリーが駆けつけると、

苦しみに苦しむ人々の悲しみの母と共に、慈悲深く

病める者の中でキリストに仕えること -

聖なる教会でのサポートを求める -

教会の牧師たちと協力して病人の世話をする

神の愛の熱を放射して

八つの祝福は、自己犠牲的な慈悲の行為の

化身である

受胎から死に至るまで生命の尊厳を守る -

看護の技術を賢く教える -

看護師の良心の形成 - 病人に対する

最もシンプルなサービス

看護専門職の尊厳のために闘う -

病人や見捨てられた人を執拗に捜索

亡命者や孤児の受け入れ

障害者に生きる希望と喜びを取り戻す -

クライアントの心と体をケアする

病人と神との和解を仲介する -

病人の家で聖ミサを行う習慣は、

患者の尊厳を細心の注意を払って守り、

人間の悲惨さに直面すると、同情心が湧き上がります。

病人へのサマリア人の奉仕のために、多くの焼夷弾が発射された。病人

人や苦しむ人々に会うために、教育者たちは

世界の美しさの中にいる神を、自分自身と他者のために発見する

悲しみを吹き飛ばす明るい精神

逆境に勇敢に、自信を持って耐える -

病人のためにすべてを犠牲にして

看護という職業を輝かしく果たす -

神と人に全身全霊で献身する

世の罪を除き給う神の子羊よ、我らを赦したまえ、主よ。

世の罪を取り除く神の子羊よ、主よ、われらの祈りを聞きたまえ。

世の罪を取り除く神の子羊よ、憐れみをお与えください

私たちに。

K.祝福されたハンナよ、私たちのために祈ってください。

W.私たちが全生涯をかけて慈悲の証しをすることができますように。

祈りましょう。

神よ、あなたは祝福されたハンナを、病人、貧しい人々、そして見捨てられた人々に仕えるよう召されました。心からあなたの召命に応えた彼女が、他者を助けるという模範によって、私たちに常に励ましてくださいますように。私たちの主キリストによって。アーメン。

クラクフ大司教区の看護師・助産師の司祭、カジミエシュ・クビック神父が準備した連携



カジミエシュ・クビック神父博士（医学博士）、元クラクフ大司教区看護師・助産師牧師。

カジミエシュ・クビック神父は、看護師と助産師の司祭として長年（30年）務めていた。



左から：FI 優勝者のカトリック看護師 Ania Kaczmarczyk。

ナイチンゲール2017勲章受章。アフガニスタンのガズニ近郊の激戦地域での戦闘任務に参加し、2021年と2024年にはレバノンでも2度従軍。現在、ポーランド陸軍大尉。ヘレナ・マトガ（MA、RN、クラクフ大司教区看護師・助産師、福者ハンナ・クルザノフスカ列聖式副承認者、2024年12月27日）

CICIAMSアジア地域より

Bangladesh Catholic Nurses Guild 45th Annual General Meeting & Election of the 23rd Executive Committee

Bangladesh Catholic Nurses Guild (BCNG) 45th Annual General Meeting and 23rd Executive Committee Election

The committee held the 45th Annual General Meeting and 23rd Executive Committee Election on June 28, 2024, at the Holy Cross Pastoral and Retreat Center in Gazipur, Dhaka. The theme was "Our Nurses, Our Future, The Economic Power of Care". The event was presided over by Rev. Fr. Theobaldus Gomes CSCC, who also served as the guest of honor. The theme for this year was "Our Nurses, Our Future, The Economic Power of Care".

The event was presided over by Rev. Fr. Theobaldus Gomes CSCC, who also served as the guest of honor. The theme for this year was "Our Nurses, Our Future, The Economic Power of Care". The event was presided over by Rev. Fr. Theobaldus Gomes CSCC, who also served as the guest of honor.

Special guests include:

1. Paul Ponnappa, Bishop
2. James C. Cruz, Priest
3. Kunjan Karia, Priest
4. Rintou F. D. Costa, Priest
5. Shina Doctor, Ripe Gloria Rozario
6. Richard Beebe, Ripeiro

BCNG's 5 branches participated with a total of 100 members. The branches are as follows:

1. Dhaka Branch
2. Kumdini Branch
3. Jashoria Branch
4. Rajshahi Branch
5. Dinajpur Branch



Newly elected members of the 23rd Executive Committee are as follows (Term: June 2024 to June 2026):

1. Mahal D. Rozario, President
2. Rafael Biswas, Vice President
3. Rouni Ripika Rozario, Secretary
4. Carmel Kusum Rozario, Treasurer
5. Teresa Baroi, Assistant Secretary
6. Greta Maria Palma, Assistant Treasurer
7. Suvoyna Ray, Organizing Committee Member
8. Mara Ripeiro, Culture & Literature Officer
9. Hira Cora, Member
10. Anant Rozario, Member



バングラデシュカトリック看護師ギルド – 看護師のための教育セミナー Nurses

バングラデシュカトリック看護師組合は、2024年6月29日にカトリック看護師のための全国教育セミナーを開催しました。

バングラデシュ、ガジ布尔、ヴァドゥン、ファザー・テックにあるホーリー・クロス・パストラル・アンド・リトリート・センターにて開催されました。95名の看護師がセミナーに参加し、看護師の仕事や最近の課題に関する様々なトピックが発表され、議論されました。

シリアル番号	トピック	スピーカー
1	気候変動と健康への影響	リトン・ヒューバート・ゴメス神父博士
2	回復力のあるメンタルヘルスの構築	マラ・レベイロ
	看護におけるプロフェッショナリズム	メイベル・D・ロザリオ教授
34	ORSによる脱水予防	ラファエル・ビスワス

参加者はセッションに参加できてとても満足しており、感謝の意を表すとともに、今後もこのようなセミナーを開催したいという意欲を示しました。



バングラデシュカトリック看護師ギルド – 看護師のための全国セミナー Nurses

リーダーシップとスピリチュアリティに関する全国セミナーが2024年11月15日にカトリック司教会議で開催されました。

バングラデシュカトリック看護師ギルド会員を対象に、聖公会医療委員会主催のバングラデシュ看護師協会（CBCB）セミナーが開催されました。101名の看護師が参加しました。聖体拝領は、ファティマ病院事務長バブル・サーカー神父、聖ヨハネ・ビアンネ病院事務局長リントウ・フランシス・D・コスタ神父、CBCB理事長トゥシャール・ジェームズ・ゴメス神父によって執り行われました。BCNG会長メイベル・D・ロザリオ教授とBCNG5支部代表5名によるキャンドル点灯式が行われ、続いてテオトニウス・ゴメスCSC大司教による歓迎の挨拶が行われました。その後、医療従事者のための新憲章と看護関連のトピックに関する発表が行われました。発表者は以下の通りです。

トピック1 生殖2 牛け	プレゼンター
る死 看護師の看護観 医療従事	リリー・アンサニア・ゴメス
者のリーダーシップスキ	エドワード・パラブ・ロザリオ博士
3 ルの育	リントウ・F・D・コスタ神父博士
4 成 看護を通して精神性を高める	メイベル・D・ロザリオ教授
5	バブル・サーカー神父
6	ジェームズ・C・クルーズ神父

アンケートが配布された看護師から看護に関する見解を収集しました。アンケート配布前に、倫理原則について説明しました。バングラデシュ・カトリック看護師組合の要請に基づき、看護師向けセミナーを開催して下さったEC-HC会長兼マイメンシム教区主教、ポール・ポネン・クビシ教閣下、EC-HC事務局長のリリー・ゴメス氏に心よりお祝い申し上げます。



CICIAMSアジア地域より

マレーシアカトリック看護師組合第53回年次総会

メアリー・ナラヤナサミー氏 (RN,MCN)

マレーシアカトリック看護師組合会長

本部: CNG-Malaysia, Taiping Catholic Church, 288 Jalan Convent, 34000 Taiping, Perak (西マレーシア)、マレーシア。



マレーシア・カトリック看護師ギルドの第53回年次総会は、2024年9月13日に開催され、続いて2024年9月14日から15日までの2日間のセミナーがマラッカのスワンガーデンリゾートホテルで開催されました。セミナーのテーマは「価値観の伝達」でした。9月13日午後5時、マラッカのベルナルド・ポール主教と、当ギルドのナショナルチャプレンであるマーク・ネオル・ボンチョル神父によって開会ミサが執り行われました。73名のメンバーが年次総会とセミナーに出席しました。メンバーは、クチン、パウ、ルンドゥ、シブ、ミリ、タイピン、マラッカ、セランゴール、ケニンガウ、セリアン、クイル、ラブアン、サンダカン、コタキナバルなど、マレーシア全土から集まりました。トピックは次の通りです。

CNGMの全国牧師、ネオル神父2) 緩和ケア、ボンチョル氏とメアリー・ナラヤナサミー氏、会長、3) 医療法
マレーシアカトリック看護師ギルド

1) INDテーマ「私たちの看護師、私たちの未来 :ケアの経済力」

と倫理、

4) より健康な母親と赤ちゃんにとって血液の健康が重要であること。

全ての講義の後には、セミナー参加者からのフィードバックを得るためにディスカッションと共有が行われました。

会員は9月15日午後5時30分から18日にかけて開催されたセミナーの後、タイのハジャヤで2泊3日の休暇を続けます。一部の参加者は、年次総会後の2024年5月13日にマラッカの聖十字架礼拝堂でサンタ・クルスの祝日を祝いました。



マレーシアのマラッカで開催されたCNGM第53回年次総会の参加者

シビル・カティガス (1899-1948)、看護師、信徒殉教者、第二次世界大戦のヒロイン

マレーシア・ベナン司教セバスティアン・フランシス枢機卿は、シビル・カティガス師の列聖式を正式に開始しました。2024年7月1日、枢機卿は、看護師シビル・カティガス師の人生は、死後76年が経った今もなお人々にインスピレーションを与え続けていると述べました。

シビルは1899年9月3日にオランダ領東インドで生まれました。彼女はアイルランド系ユーラシア人農園主ジョセフ・デイリーとフランス系ユーラシア人助産師ベアトリス・マチルダ・マーティンの5番目の子であり、唯一の娘でした。シビルは、マレー系タミル人インド人第二世代でシンガポール医科大学卒のアルムガン・K・ピレイ博士と出会い、結婚しました。ピレイ博士はヒンズー教徒でしたが、ローマ・カトリックの洗礼を受け、マレーシアの第二次世界大戦の英雄の一人であるアブドン・クレメント・カティガスの名を授かりました。シビルの列福と列聖のためにお祈りください。彼女の伝記はこちら :<https://dcbasia.org/biography/kathigasu-sybil-m>



Mrs Sybil Kathigasu (left), Sybil Kathigasu and her husband, Dr. AC Kathigasu on their wedding day. Photo credit: NST, Going Places via The Rakyat Post

CICIAMSアジア地域より

CICIAMS国際教会補佐官およびCICIAMSアジア地域会長がカトリック医師会と韓国カトリック看護師協会を訪問

2024年11月7～9日

CICIAMS 国際聖職者補佐、MM 兼アジア地域会長のケネス・G・スリーマン牧師が韓国カトリック看護協会を訪問しました。

清水 博子 看護師、博士、CICIAMS アジア地域会長および日本カトリック看護師協会会長。

本部：愛媛県八幡浜市大正町1182-7、カトリック八幡浜教会、〒796-0033

シスター・パーク・アンナ・グラティア・ヒヨンスク、MSN、RN、韓国カトリック看護師協会会長、韓国カトリック大学看護学部副学長、ソウル聖母病院、永遠の助けの聖母修道女会（SOLPH）、本部：



KCNGメンバーとケン神父、清水博士

前列右から、キム・スク副会長、ヒョン・スク会長、後列右から4番目、ミヒョン・パク副会長兼CICIAMS倫理委員会委員

06591 韓国ソウル特別市瑞草区盤浦大路222

ケネス・G・スレイマン牧師

MM&Dt. 清水博子

アジアカトリック医師会会長の加納重之博士の招待により、第18回アジアカトリック医師会大会に出席しました。

韓国ソウルにあるカトリック大学聖マリア病院で開催されました。聖マリア病院看護部の副部長は、韓国カトリック看護協会会長のパーク・アンナ・グラティア・ヒヨンスクシスターでした。そこで、スレイマン神父と清水医師は、韓国カトリック看護協会の会長および役員と交流しました。韓国カトリック看護協会には

3,741人の会員があり、そのうち1,870人がソウルにいます。

韓国の人口は5,171万人で、そのうち約500万人がカトリック教徒です。カトリックが韓国に伝わったのは18世紀なので、歴史はそれほど長くありません。しかし、19世紀には殉教者が現れ、1866年には迫害が起こり、人々の心に強い信仰が芽生えたようです。

セントメアリーズ病院での看護活動は特に注目すべきは、回復室の患者が見上げるカーテンレールの細いアルミパイプに「悲しむ人は幸いである、彼らは祝福される」という言葉が刻まれ、苦しむ人々に聖書の一節が送られていることだ。また、血管造影検査室のガラスドアには、入室する医師や看護師のために「全能の神が私の足りない部分を補ってくださいませよう」という祈りの言葉が刻まれている。医療従事者が常に謙虚さを貫く素晴らしい姿に、彼女は心を打たれた。彼女は、韓国のカトリック看護師たちの活動に神の栄光が与えられるよう祈っている。



手術室の前で働く看護師たち



遺贈：ご家族や個人の皆様は、今すぐ、あるいは遺産計画や遺言を通して、国際カトリック看護師・医療ソーシャルアシスタント委員会（CICIAMS）の使命と目標を支援するために、遺贈／寄付をすることができます。皆様の地上での善行は、世界中の看護師の活動を通して生き続けます。CICIAMSへのご支援をご検討ください。CICIAMSへの資金援助に関する詳細は、事務局長（CICIAMSInternational12@gmail.com）までお問い合わせください。

CICIAMSアフリカ地域より

エスワティニ・カトリック看護師ギルド (ECNG) 学校児童への尊厳パック

2025年2月12日、エスワティニ・カトリック看護師ギルドのメンバーが小学校を訪問し、尊厳パックと生理用品を配布し、生徒と教師に保健サービスを提供しました。CICIAMSアフリカ地域月経衛生プロジェクトの詳細については、CICIAMSニュース2025年5月号をご覧ください。



左の写真： CICIAMS国際会長のKhosi Mthethwa博士 (MPH, PhD, RN)、ECNG会計担当のThabisile Dlamini、会員のGcinile Buthelezi RN、看護助手 Njuleto Mthethwaが、2025年2月12日に学校の子供たちに尊厳パックと健康教育を提供しています。右の写真：エスワティニ王国の学校の子供たちに尊厳パックを提供しています。

バチカンから

第38回世界病者の日

教皇フランシスコのメッセージ

XXXIII 世界病者の日

2025年2月11日

「希望は失望させません」(ローマ5:5)

しかし、試練の時に私たちに強くしてくれる

親愛なる兄弟姉妹の皆様

2025年の聖年、第33回世界病者の日を祝います。教会はこの日、私たちに「希望の巡礼者」となるよう招いています。神の言葉は私たちに寄り添い、聖パウロの言葉を借りれば、「希望は失望させない」という励ましのメッセージを与えてくれます。

(ローマ5:5)実際、それは試練の時に私たちに強くしてくれます。

これは慰めの言葉だが、困惑させるものでもある。

特に苦しんでいる人々のために。例えば、私たちの体が重篤で衰弱性の病気にかかり、高額な治療費を払うことができない時、私たちはどのように強くいられるでしょうか？私たち自身の苦しみに加えて、私たちが支えてくれながらも、助ける力がないと感じる愛する人たちの苦しみを目の当たりにするとき、私たちはどのように強くいられるでしょうか？このような状況で、私たちは自分自身よりも大きな力の必要性を感じます。神の助け、神の恵み、神の摂理、そして神の聖霊の賜物である力が必要であることを悟ります（カトリック教会のカテキズム参照）。1808年）。

少し立ち止まって、神が、出会い、贈り物、分かち合いという3つの方法で、どのように苦しんでいる人々に寄り添ってくださっているのかについて考えてみましょう。

1. 出会い。イエスは72人の弟子たちを宣教に遣わされたとき（ルカ10:1-9参照）、病人に「神の国はあなたがたに近づいた」（9節）と告げるようにと命じました。言い換えれば、病人が、たとえどれほど辛く、理解しがたいものであっても、その弱さを主と出会う機会と見なせるよう助けるよう、イエスは弟子たちに求めているのです。病気の時、私たちは肉体的、心理的、霊的なレベルで、人間としての弱さを感じます。しかし同時に、イエスにおいて私たちの人間としての苦しみを分かち合われた神の近さと慈しみも経験します。神は私たちを見捨てず、私たちが決して予想もしなかった、自力では決して見つけることのできなかった力を与えて、しばしば私たちを驚かせてくださいます。

教皇フランシスコのメッセージ、第33回世界病者の日（続き）

病気は、人生の嵐の中でもしっかりと掴むことができる堅固な岩の発見、たとえ大きな代償を払ったとしても、私たちがより強くする経験となります。なぜなら、病気は孤独ではないことを教えてくれるからです。苦しみは常に救いの神秘的な約束を伴います。なぜなら、それは私たちに神の慰めの臨在の近さと現実を体験させてくれるからです。こうして私たちは「福音の豊かさ、その約束と命のすべて」（聖ヨハネ・パウロ二世、若者への説教）を知るようになるのです。（ニューオーリンズ、1987年9月12日）。

2. こうして、神が苦しみに寄り添う第二の様相、すなわち賜物へと至ります。苦しみは何よりも、希望が主から来ることを気づかせてくれます。ですから、何よりもまず、希望は「神の忠実に忠実であり続ける」ことによって、受け取り、育むべき賜物なのです。マドレーヌ・デルブレルの美しい言葉にもあるように（『希望は今ここに』、パチカン市国2024年、序文参照）。

実に、キリストの復活においてのみ、私たち自身の人生と運命は永遠の無限の地平線の中に位置づけられます。イエスの過越の神秘においてのみ、私たちは「死も、命も、天使も、支配者も、現在のも、将来のも、力も、高さも、深さも、そのほかどんな被造物も、神の愛から私たちに引き離すことはできません」（ローマ8:38-39）という確信を得ることができます。この「大なる希望」こそが、人生の試練や障害を乗り越える道を見出すのに役立つ、あらゆる小さな光の源なのです（ベネディクト16世『救いの祈り』参照）。（27, 31）復活した主は、エマオへの道で弟子たちと共に歩まれたように（ルカ24,13-53参照）、私たちの道中を共に歩んでくださいます。弟子たちのように、私たちが不安や心配、失望を主と分かち合い、私たちに照らし、心を温めてくれる主の言葉に耳を傾けることができます。また、パンを裂く時に主が共にいることを彼らのように認め、こうして今この瞬間にも、私たちに寄り添い、勇気と自信を回復させてくれる「より大きな現実」を感じることもできるのです。

3. さて、神が私たちに寄り添う第三の方法は、分かち合いを通してです。苦しみの場合は、しばしば分かち合いと互いを豊かにする場でもあります。病人のベッドサイドで、どれほど多くの希望を学んだことでしょう。苦しむ人に寄り添うことで、どれほど多くの信仰を学んだことでしょう。困っている人を世話するときに、どれほど多くの愛を見出したことでしょう。患者、医師、看護師、家族、友人、司祭、修道者、修道女など、どこにいても、家族の中であれ、診療所、老人ホーム、病院、医療センターであれ、私たちは皆、希望の「天使」であり、神の使者であることに気づきます。

私たちは、こうした恵みに満ちた出会いの美しさと意義を、どのように認識するかを学ぶ必要があります。看護師の優しい笑顔、患者の感謝と信頼、医師やボランティアの思いやりのある顔、配偶者や子ども、孫、親しい友人の心配そうな期待に満ちた表情を、どのように大切にするかを学ぶ必要があります。これらはすべて、大切にすべき光明です。逆境の暗い夜の中でも、それらは私たちに力を与え、同時に、愛と親密さにおける人生のより深い意味を教えてください（ルカ10:25-37参照）。病に苦しむ人々、あるいは苦しむ人々を介護する兄弟姉妹の皆さん、この聖年において、皆さんは特に重要な役割を果たします。皆さんが共に歩む道は、すべての人々にとってのしるしです。「人間の尊厳への賛歌、希望の歌」（『聖体拝領の宣教』）11) その音色は、医療施設の部屋やベッドをはるかに超えて響き渡り、「社会全体の合唱参加」（同）を慈善活動へと促します。その調和は、時に達成するのが難しいものですが、だからこそ、慰めと力強さを与え、最も必要とされる場所に光と温もりをもたらすことができるのです。



教会全体があなたに感謝しています。私も感謝しており、いつも祈りの中であなたを覚えています。聖母マリアにあなたを託します。病める者よ、多くの兄弟姉妹が困難な時に彼女に語った言葉は次の通りです。

ああ、神の聖なる母よ、私たちはあなたの保護を求めて飛び立ちます。

我々の必要における嘆願を軽視しないでください。

栄光に満ちた祝福された聖母よ、私たちが常にあらゆる危険から救ってください。

あなたとあなたのご家族、そして愛する人たちを祝福します。そしてどうか私のために祈ることを忘れないでください。

ローマ、サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ教会、2025年1月14日

<https://www.vatican.va/content/francesco/en/messages/sick/documents/20250114-giornata-malato.html>

福音宣教省より

2025年ジュビリー祭 - 「希望の巡礼者」

ロゴ-キリストの十字架は、私たちが常に、特に最も困難な瞬間に必要としているため、決して放棄することのできない希望です。 of it, especially in the most difficult moment.

帆の形をした十字架は、波間を揺らめく錨へと姿を変え、希望の普遍的な象徴となっています。 itself over the waves in motion. A universal symbol of Hope.

これらの人物は世界の四隅の人々を象徴しています。最初の人物が十字架にしがみつくと、彼らは互いに抱き合い、民族間の連帯を示しています。 idarity between the peoples, as the first holds onto the cross.

荒波は人生の巡礼の困難を思い起こさせます。しばしば、個人的な出来事も世間の出来事も、私たちにさらに大きな重圧をかけ、より大きな希望を要求します。 *ress on us more intensely, demanding a greater hope.*



ジュビリーとは何ですか？

ジュビリーは常に人々の行事でした。

実際、1300年の最初の聖年は神の民の要請によって誕生しました。世紀の転換期において、ローマの信徒たちは教皇ボニファティウス8世に、告発勅書に記されているように「より豊かであるだけでなく、完全な罪の赦し」を求めました。

古代ヘブライ人にとって、ヨベルの年（角笛の音で祝祭を告げられたことから、「ヨベルの年」、つまり「ヤギの年」と呼ばれていた）は聖なる年と宣言されていました。当時、モーセの律法は、神を唯一の主人としていた土地が元の所有者に返還され、奴隷が自由を取り戻すことを定めていました。ヨベルは通常50年ごとに訪れました。

キリスト教時代、最初の聖年の後、ボニファティウス8世は聖年祭の繰り返しを100年ごとに定めました。1342年、ローマ人から教皇クレメンズ6世への請願を受けて、この期間は50年に短縮されました。その後、15世紀半ばに教皇パウロ2世は、聖年と聖年の間の期間を25年に短縮しました。

聖年は具体的な行為によって構成されます。最も象徴的で心を揺さぶるのは、聖なる扉が開かれることです。巡礼者は巡礼の旅に出て、信仰を込めて扉に接吻し、扉の前でひざまずいて祈りを捧げます。巡礼には具体的な旅があり、巡礼者は苦労しながら道中で仲間と出会います。

巡礼において、私たちは秘跡の具体的な側面を見出します。告解、聖体における神との和解です。また、悔悛、断食、愛のわざの具体的な側面も見出します。巡礼は主イエスの受肉であり、私たち自身の物語を大きく開き、主が私たちの間におられることを示し、触れることができる具体的な希望です。

聖年は、教皇や牧師、神学者の思召しによって始まったものではありません。それは神の民の信仰の結実です。教会生活において最も盛んな行事です。使徒たちの墓への巡礼、聖なる扉の体験、回心の時、秘跡への特別な親近感の時です。*

ジュビリーの祈り*

天の父よ

あなたが私たちに与えてくださった信仰が
あなたの御子、私たちの兄弟イエス・キリストにおいて、
そして慈善の炎が燃え上がった
聖霊によって私たちの心に
私たちの中に祝福された希望を再び呼び覚まします
あなたの王国の到来を祈ります。

あなたの恵みが私たちを変えますように
福音の種をたゆまず耕す者へと変えてください。
その種が両者の内側から変化しますように
人類と宇宙全体
確かな期待の中で
新しい天と新しい地の
悪の力が打ち負かされ、
あなたの栄光は永遠に輝きます。

ジュビリーの恵みが

希望の巡礼者たちよ、私たちの中に再び目覚めよ。
天国の宝物庫への憧れ。
同じ恵みが広がりますように
私たちの救い主の喜びと平和
地球全体に。

永遠に祝福された我らの神よ、

永遠に栄光と賛美がありますように。
アーメン。

フランシスコ教皇

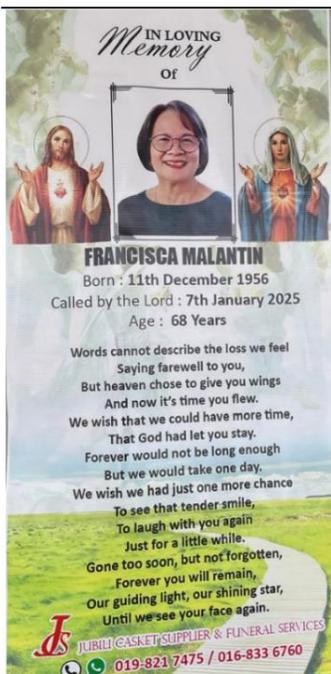
病者と医療従事者の記念祭は、2025年4月5日と6日にバチカン市国で開催されます。記念祭への参加を希望する各国協会／ギルドは、下記のウェブサイトで登録し、旅行とホテルの手配を早めに行ってください。<https://www.iubilaeum2025.va/en/giubileo-2025.html> ご質問は：info@iubilaeum2025.va; 聖年に関する教皇勅書は、<https://www.vatican.va/content/francesco/en/bulls/document> でご覧いただけます。

[s/20240509_spes-non-confundit_holla-giubileo2025.html](https://www.vatican.va/content/francesco/en/bulls/document/s/20240509_spes-non-confundit_holla-giubileo2025.html)



* 『2025年のジュビリーへの道』より抜粋

追悼



キリスト教徒の亡き愛する姉妹への弔辞
フランシスカ・マランティン夫人
1956年12月11日 - 2025年1月7日
デイジー・スタニスラス氏 (CNGMサバ州副知事)

亡くなった愛するシスターの葬儀

キリスト、フランシスカ・マランティンは、2025年1月7日にマレーシア・サバ州ベナンパンのブキット・パダンにある無原罪の MARIA 教会で執り行われました。

式典には、現役看護師と退職看護師を含む、あらゆる階層の人々を含む多くの人々が参列しました。集まった大勢の信者は、フランシスカさんの優しさを雄弁に物語っています。式典は、フランシスカさんが CNGM 会長を務めていた当時、CNGM の霊的チャプレンを務めていたアロイスシウス神父によって司式されました。

故フランシスカは私たち全員に永続的で前向きな影響を与えてくれました。看護師として、私たちは彼女が残してくれた愛、インスピレーション、そしてかけがえのない教訓を、他の看護師たちに伝え続けていきます。マレーシア・カトリック看護師組合の元会長、そして CICIAMS アジア地域会長として、国内外でリーダーシップを発揮した彼女の貢献は、私たちの心に永遠に刻まれます。



私たちは、彼女が伝えてくれた知恵と貴重な教訓に導かれ、彼女の遺産を継承することで彼女の記憶を尊重します。私たちにとって、フランシスカはすべてが失われたように思えた時でさえ希望を放つヒロインでした。

**あなたがいなくなると寂しくなりますが、決して忘れません。安らかにお眠りください。
キリスト教徒の愛する姉妹へ**

彼女の夫であるロニー・オン・シアン氏と家族全員に心からお悔やみ申し上げます。

彼女の魂と、亡くなったすべての信者の魂が、神の慈悲によって安らかに眠りますように。
アーメン。

「主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主があなたに御顔を向け、あなたに恵みを与えられますように。主があなたに顔を向け、あなたに平安を与えられますように。」 — 民数記 6:24-26。



フランシスカ・マランティン神父とケン・スレイマン神父、MM (RN) および CNGM (サバ州) のメンバー、聖なるミサの犠牲
2024年6月24日



デイジー・スタニスラス氏、副社長 (サバ州) CNGM、ヒロコ氏
CICIAMS アジア地域会長 清水氏
フランシスカ・マランティン氏、CICIAMS アジア社長
フランシスカの夫と共に、地域 (2020-2024)
ロニー・オン・シアンと娘のイモジェン・オン、
2024年6月23日

「クリスマスは愛の奇跡の時です。皆様、祝福に満ちた聖なるクリスマスをお過ごしください！」

フランシスカが2024年12月27日にアジア地域グループに語った最後の言葉

→ 転送されたメッセージ

Hi Mary, I m taking it one day at a time... I pray for God's will. 17:29

フランシスカがマレーシア大統領メアリーに送った最後の言葉、2025年1月2日



フランシスカ
マランティンと
CNGM
メンバーと
パトリシア博士
セイヤーズ、
社長
CICIAMSにおける
NACN-USA
XXIワールド
会議、
私たちの神社
レディ・オブ

チェンストホバ、ドイルズタウン、ペンシルバニア州、米国、2022年8月

イベントカレンダー



-----2025年 - ジュビリー年-----

「希望の巡礼者」

第58回世界平和デー (バチカン) - 1月1日

神の言葉の日曜日 (バチカン) - 1月26日

「私はあなたの御言葉に希望を置きます」 (詩篇119:74)

第72回世界ハンセン病デー - 2025年1月26日

第6回世界NTD (顧みられない熱帯病)デー

2025年1月30日

- 第33回世界病者の日 - 2025年2月11日 (バチカン)
- 第18回世界希少疾患デー - 2025年2月28日
- 世界水の日 - 2025年3月22日 (国連設立1993年目標6 :2030年までにすべての人々に水と衛生を)。バチカンDPIHDプロジェクト :すべてのカトリック系医療施設に水、衛生設備 (WASH)を供給。

- CICIAMS執行委員会 2025年4月3日・4日
- 病者と医療従事者の記念祭
(バチカン) -2025年4月5日~6日
- 世界保健デー (1948年の第1回世界保健総会で制定) - 2025年4月7日
- 国際助産師の日、2025年5月5日
- 国際看護師の日 - 2025年5月12日 (金曜日)
- 第38回世界禁煙デー (WHO) -2025年5月31日
- 2025 - DLFLのモデレーターとの会議
信徒の協会、教会運動、新しい共同体の記念祭、2025年6月4日 (水/木)、バチカン市国シノドスのアウラ・ヌオーヴァにて[運動、協会、新しい共同体の記念祭、6月7日 (土/日) に任意で参加可能]。

- 世界難民の日 (国連) - 2025年6月20日
- 2025年6月26日 - 国際薬物乱用防止デー
および違法人身売買 (国連推定、1989年)
- 第5回世界祖父母・高齢者デー 2025年7月27日 (7月の第4日曜日、イエスの祖父母である聖ヨアキムと聖アンナの祝日に近い) 「希望が消えない人は幸せだ」 (バチカン)

- 被造物の保護のための世界祈禱日。テーマ:「未定」 - 2025年9月1日 (バチカン)
- 国際平和デー - 2025年9月21日 (国連設立1981年)
- 第111回世界移民・難民の日 (WDMR)
2025年9月28日 (バチカン設立1914年)
- XXXX 世界青年の日、特に
2025年と2026年のキリスト王の祭日における教会 2025年11月23日「あなたがたもわたしの証人である。あなたがたはわたしと共にいたからである」ヨハネ15:27 (バチカン)
- 世界メンタルヘルスデー、2025年10月10日 (WHO制定)。
1992年
- 第8回世界貧困者の日、11月16日 (2017年バチカン制定)
- 2026年 - CICIAMS XXII 世界会議、タイ
 - o 2026年11月9日 - CICIAM執行理事会会議
 - o 2026年11月10日 CICIAMS総会
 - o 2026年11月11日~13日 CICIAMS XXII 世界会議

- 2026年 - 第41回世界青年の日 (教区の祝賀行事)
- 2027 - 第42回ワールドユースデー、韓国ソウル。
テーマ: 「勇気を出しなさい!私は世に打ち勝った!」
ヨハネ16:33

CICIAMS公式文書とリンク

CICIAMS 2023 規約および規則: <http://www.ciciams.org/ciciamsreports.html>

CICIAMS カトリック看護師のための倫理ガイドラインと実践原則: www.ciciams.org/ethicscommittee.html



CICIAMSミッション

§ 1. CICIAMSのミッションステートメント :教会の道徳的および社会的教えに基づき、CICIAMSは次のことを約束します。

- 国際的に医療従事者を指導および支援することにより、私たちの生活の中でキリスト教の証しを与える

- 受胎から死に至るまでの人生に対する前向きなビジョンを育む
- 他の国内外の団体との活動においてキリスト教と職業的価値観を代表する
- 看護専門職の精神と理想を広めるための会員協会の活動を調整する
- 最適なケアと健康の実現に向けた専門的な研究開発の開始と参加を促進する
- 他者の宗教的信念を尊重し、その信念を実践する権利を認める。



CICIAMSの目的

- プロフェッショナルとクリスチャンを代表する会員の利益
- メンバーの精神的な福祉と倫理的な向上価値観
- カトリックの原則と専門能力開発に沿った健康と社会的な健康対策の推進
- 加盟協会間の協力の促進

記事、写真、情報を2025年4月15日までにCICIAMS事務局長に送付してください。

2025年5月のCICIAMSニュース :
CICIAMSInternational12@gmail.com